

環境経営レポート

株式会社 北部衛生

2024 年度

(対象期間 2023 年 6 月 1 日～ 2024 年 5 月31日)



発行日： 2024年9月3日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
許可の内容	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
各事業所の紹介	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

当社の創業は終戦から間もない1955年の大阪市。国内の産業がようやく復興の兆しを見せ始めたころのことです。道路や河川など至るところにごみが散乱する当時の大阪の街で当社は「国の産業成長には、まずは整理整頓・清掃より始まるべき」との初代代表の信念のもとに清掃一編に取り組み、以来今日までの60余年に渡り、時代の移り変わりとともに変化を続ける廃棄物とエコロジーに向かいあってまいりました。

今年度は、大阪市との間に事業連携協定を結んで展開してきた「みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト」に新たな動きが生まれ、家庭からのペットボトルのみならず、企業さまからのペットボトルも受け入れ可能になりました。これをきっかけに、この産・官・民連携の一大エコ・プロジェクトはさらに大きなムーブメントとなる可能性を秘めており、コミットしてゆく価値のある事業であると確信しています。

環境経営方針

環境理念

私たちは、都市の保険衛生の確保及び向上の為、清掃事業を通じて町の美化と資源の再活用を用い、人類共通のテーマである環境保全を志し、会社が一丸となり自主的・積極的に継続的改善に取り組んで行くことを誓います。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境への取組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
3. 二酸化炭素の排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ア エコドライブ推進を積極的に行います。
 - イ 電力（事務所及び作業所において）の節電を試みます。
4. 廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
 - ア 従業員にエコドライブの指導教育を含む環境教育を実施します。
 - イ 会議用資料・事務書類の簡素化、電子メディア等の利用・ICカードによる出退勤管理などによるペーパーレス化の促進を図ります。
 - ウ オフィスのリサイクルとして再生紙の使用、エコマーク用品の使用、ペットボトルのボトルtoボトルリサイクルを積極的に行います。
5. 排水量の削減（水資源の保全）
 - ◎ 一般水道水
 - ◎ 工程洗浄水（洗車等）
6. グリーン購入やグリーン調達への推進
 - ◎ 文房具・作業着などの再生商品の購入
 - ◎ コピー用紙の裏紙使用
 - ◎ LED照明の順次購入・非常口案内灯もLED照明を使用
 - ◎ 節電・省エネ型コピー機の使用
7. 受託廃棄物のリサイクル化
 - ◎ 積替え保管の際の分類・仕分けによる資源の再利用化、ごみの減量化
8. 社会貢献
 - ア 地域での清掃等、環境を保全するための活動へ積極的に参加します。
 - イ 産業廃棄物の適正処理を行い、排出事業者さまへの分別収集への分別収集へのご協力を要望いたします。
 - ウ ライフキャップ運動に参加します。
 - エ 「みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト」に参画事業者として貢献いたします。
 - オ 災害発生時には、地域の避難場所として社屋を開放いたします。



制定日：2011年 9月 1日

改定日：2022年 9月15日

代表取締役 川崎 信裕

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 北部衛生
代表取締役 川崎 信裕
- (2) 所在地
本社 大阪市東成区東中本2丁目14番27号 川崎ビル
第二工場 大阪市東成区東中本3丁目22番34号
東成リサイクルベース 大阪市東成区東中本3丁目22番2号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 環境管理責任者 川崎 信裕 TEL: 06 (6971) 2575
担当者 総務部長 今井 賢太郎 TEL: 06 (6971) 2575
- (4) 事業内容
一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業（積み替え保管を含む）・リサイクル業
- (5) 事業の規模

法人設立 平成20 (2008) 年 3 月 17 日 (昭和30年より個人で創業)
資本金 2,000 万円
売上高 63,054 万円 (2023年5月決算時)

	本社	第二工場	東成リサイクルベース
従業員	51 名	0 名	3 名
延べ床面積	1475.11 m ²	300.75 m ²	428.12 m ²

受託した産業廃棄物

収集運搬量	691 t
-------	-------

受託した一般廃棄物

収集運搬量	3,800 t
-------	---------

車両台数 2024年5月31日現在

車 種	台 数	備 考
ロータリー塵芥車 3t	6 台	社有車
プレスバック塵芥車 2t	6 台	社有車
プレスバック塵芥車 3t	1 台	社有車
プレスバック塵芥車 計量器付	4 台	社有車
回転板式塵芥車	6 台	社有車
大型ダンプ車 10t	4 台	社有車
小型ダンプ車 2t	5 台	社有車
脱着式コンテナ車 2t	1 台	社有車
脱着式コンテナ車 4t	2 台	社有車
軽車両・乗用	4 台	社有車
軽車両・ダンプ車	5 台	社有車
フォークリフト	2 台	社有車
合 計	46 台	

主要設備

名 称	台 数	備考
ペットボトル圧縮機	1 基	該当なし

積み替え保管施設

名 称	保管上限／高さ	保管品目
第二工場	保管量 13.7 m ³	廃プラ・紙屑・木屑・繊維屑・ゴム屑・金属屑・硝子屑 がれき類・動植物性残渣・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ
	高 さ 1.35 m	
東成リサイクルベース	保管量 180 m ³	ペットボトル圧縮加工品（ペットボトル原料）
	高 さ 3 m	

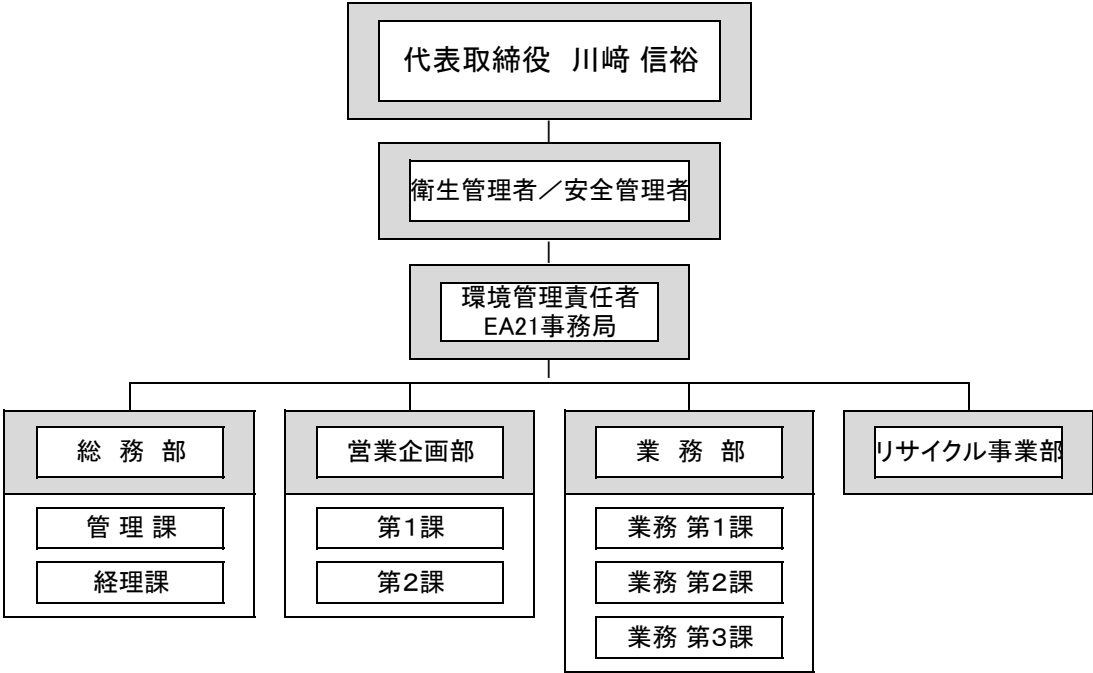
- (6) 事業年度：6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 北部衛生
対象事業所：<1>本社
<2>第二工場
<3>東成リサイクルベース
対象外：該当なし
活動：一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業（積み替え保管を含む）・リサイクル業

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年5月31日



代表者 (代表取締役)	●環境経営に関する統括責任。 ●環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間・技能・技術者を準備。 ●環境管理責任者を任命。 ●環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ●環境目標・環境経営計画書を承認。 ●代表者による全体の評価と見直しを実施。 ●環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	●環境経営システムの構築・実施・管理。 ●環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 ●環境目標・環境経営計画書を確認。 ●環境経営の取り組み結果を代表者へ報告。 ●環境経営レポートの確認。
環境管理責任者	●環境管理責任者の補佐。 ●環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ●環境目標・環境経営計画書原案の作成。 ●環境経営の実績集計。 ●環境関連法規等の取りまとめ表の作成。 ●環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ●環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ●環境経営レポートの作成、公開。(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長	●自部門における環境経営システムの実施。 ●自部門における環境方針の周知。 ●自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ●自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ●特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ●自部門の特定された緊急事態への対応のために手順書作成・テスト・訓練の実施・記録の作成。 ●自部門の問題点の発見・是正・予防措置の実施。
全従業員	●環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ●決められたことを守り、自主的・積極的に環境精鋭へ参加。

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
大阪市	013000	令和6年4月1日	令和8年3月31日	

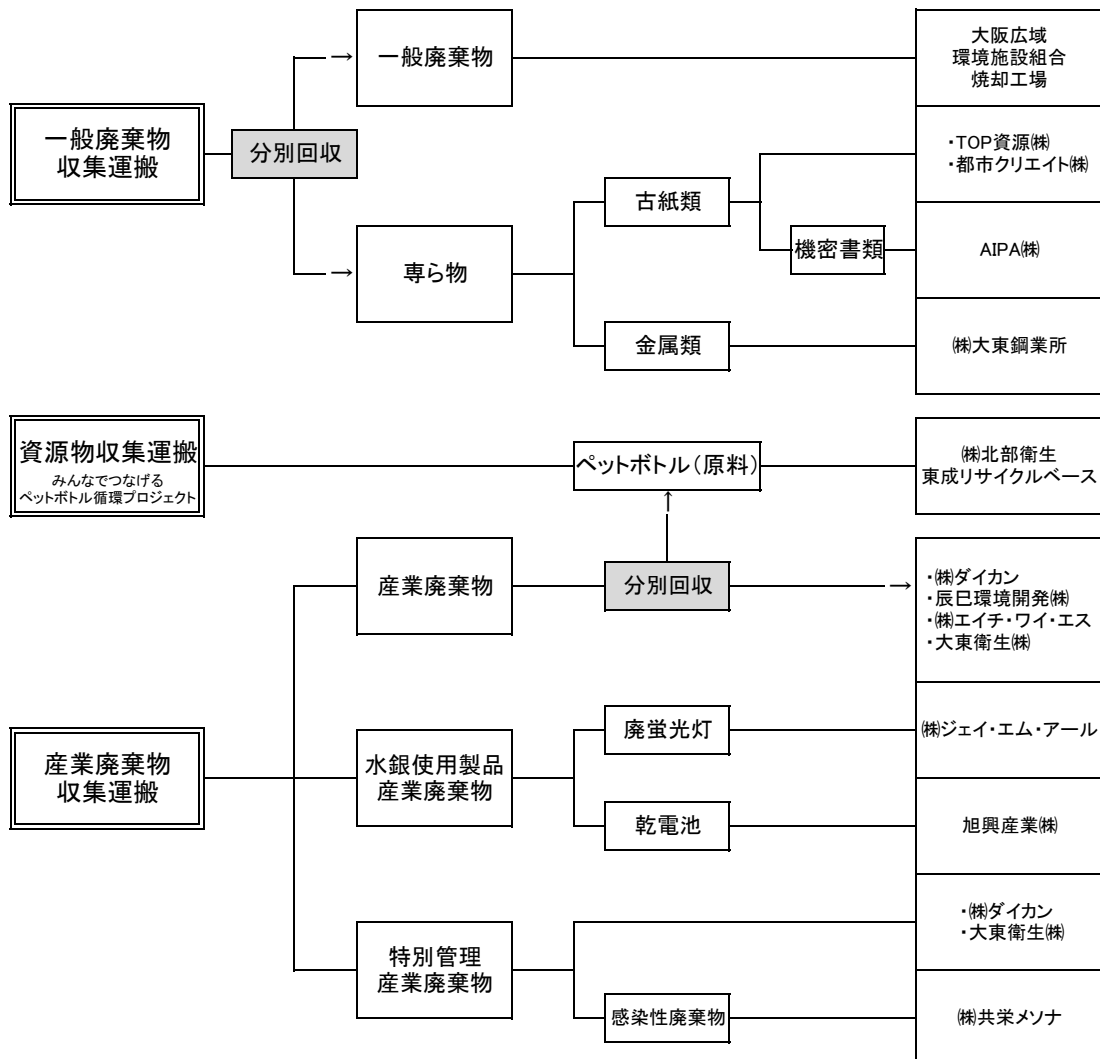
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類															
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	陶器くず	ガラスくず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉛さい
大阪市	6610143781	令和2年11月2日	令和7年8月20日	有		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府	02700143781	令和3年5月28日	令和8年5月27日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	02900143781	令和3年5月27日	令和8年5月26日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
兵庫県	02801143781	令和4年4月14日	令和9年4月13日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	
京都府	02600143781	令和5年8月21日	令和10年6月21日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類												
					廃油	廃酸	廃アルカリ	産業廃棄物	感染性	廃石綿等							
大阪府	02750143781	令和1年11月27日	令和6年11月26日	無	○	○	○	○	○	○							

□廃棄物処理フロー



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	435,822	428,936	506,881
受託収集運搬量	トン	755	684	691
受託中間処理量	トン	0	0	0
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	43	45	46
産業廃棄物排出量	トン	1	0	2
総排水量	m ³	1496	1,495	1,548
CO2排出係数		0.351	0.351	0.351
電力会社		関西電力	関西電力	関西電力
採用年度		2020年度	2020年度	2020年度

kg-CO₂/kWh

※ 二酸化炭素総排出量は、灯油も含む

環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		2023年	2024年		評 価	2025年	2026年	
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素 売上高原単位	kWh	104,761	104,761	121,509	×	103,713	103,190	
	基準年度比		99.5%	116%		99%	99%	
	kWh/百万円	166.287	165.456	152.842	○	164.624	163.793	
	kg-CO2	36,771	36,587	42,650	×	36,403	36,220	
	基準年度比		99.5%	116%		99%	99%	
売上高原単位	kg-CO2/百万円	58.367	58.075	53.647	○	57.783	57.491	
	kg-CO2	192	183	177	○	181	179	
都市ガスによる二酸化炭素削減	基準年度比		95%	92%		94%	93%	
	kg-CO2/百万円	0.305	0.290	0.223	○	0.287	0.284	
	自動車燃料による二酸化炭素削減	ガソリン	L	8,320	8,279	8,530	×	8,237
基準年度比				99.5%	103%		99%	99%
kg-CO2/百万円			30.639	30.486	24.893	○	30.333	30.180
軽油		L	144,411	143,689	172,161	×	142,967	142,245
		基準年度比		99.5%	119%		99%	99%
	kg-CO2/百万円	591.397	588.440	558.711	○	585.483	582.526	
上記二酸化炭素排出量		kg-CO2	181,374	180,459	214,988	×	179,551	178,643
一般廃棄物の削減	kg	45,243	44,564	45,515	×	44,564	44,338	
	基準年度比		99%	101%		99%	98%	
産業廃棄物の削減	kg	0	0	2,111	×	0	0	
	基準年度比		90%	#DIV/0!		80%	70%	
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%	
水使用量の削減	m³	1,495	1,488	1,548	×	1,480	1,473	
	基準年度比		99.5%	104%		99%	99%	
環境に配慮した収集運搬		行動目標（次項による）						

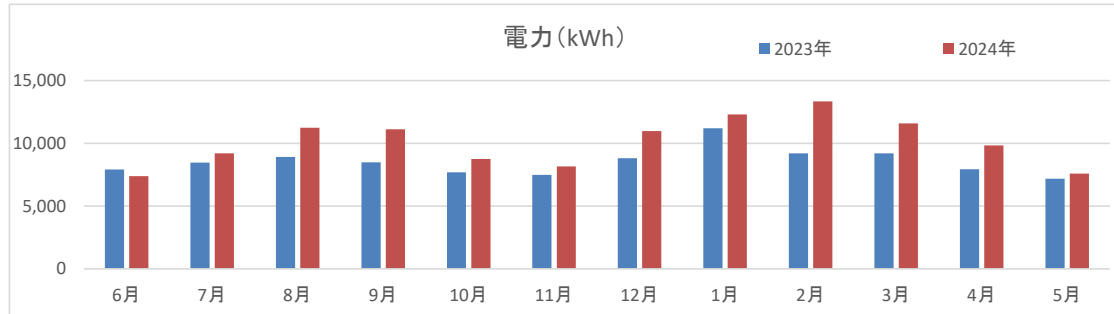
※ 化学物質の取り扱いはありません。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

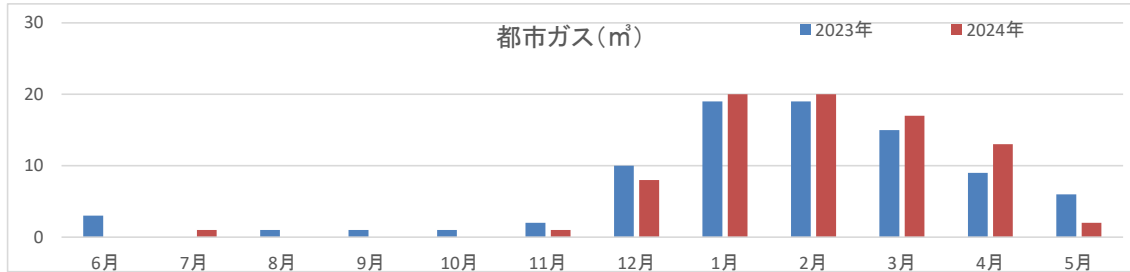
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	本社と第二工場の電力の使用量は前年同月と比較しても大差ないか、ときには減少も見られるものの、リサイクルベースの使用量がペットボトルの受入量の増加に伴って増加している。収集地域・協力企業が継続的に増えていく中で現状を維持することも難しいところとなりつつある。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・階段使用の励行	×	
・カーリフトの使用回数削減のための車の配置	△	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



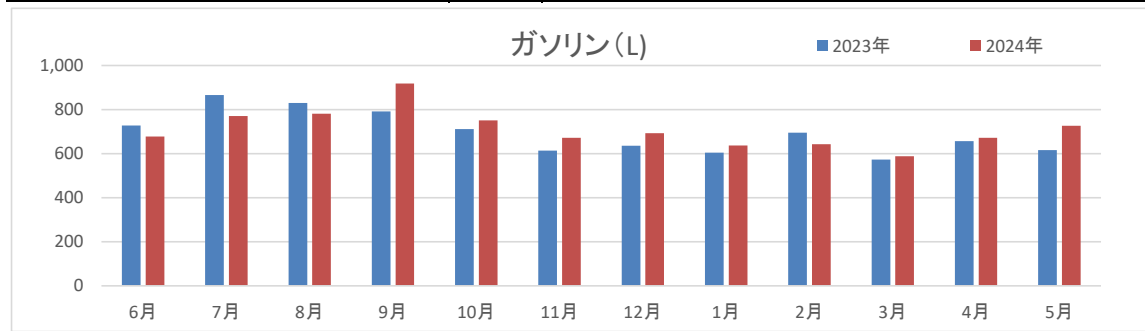
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	7,925	8,466	8,919	8,488	7,696	7,480	8,815	11,199	9,209	9,209	7,940	7,173
2024年	7,376	9,194	11,245	11,117	8,751	8,170	10,981	12,309	13,343	11,584	9,840	7,599

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用状況としては不適切なものではないので、必要量であると言えると思われる。
・ガス器具の運用見直し	△	
0	0	
0	0	
0	0	

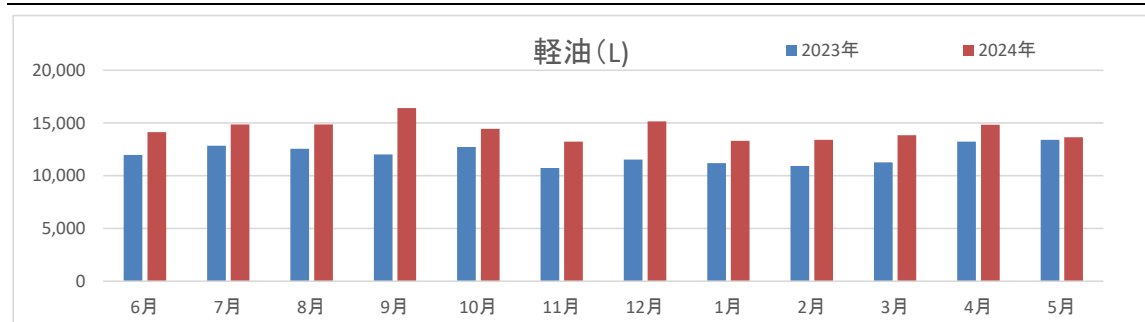


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	3	0	1	1	1	2	10	19	19	15	9	6
2024年	0	1	0	0	0	1	8	20	20	17	13	2

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ペットボトルの回収地域が年度当初から見て17地域も増加しており、なおかつ今後は企業のペットボトル回収も始まっていく中で、燃料の使用量を抑えることが困難になっている。
・エコドライブの徹底	△	
・効率的なルートで収集	△	
・低燃費車両導入の検討	△	

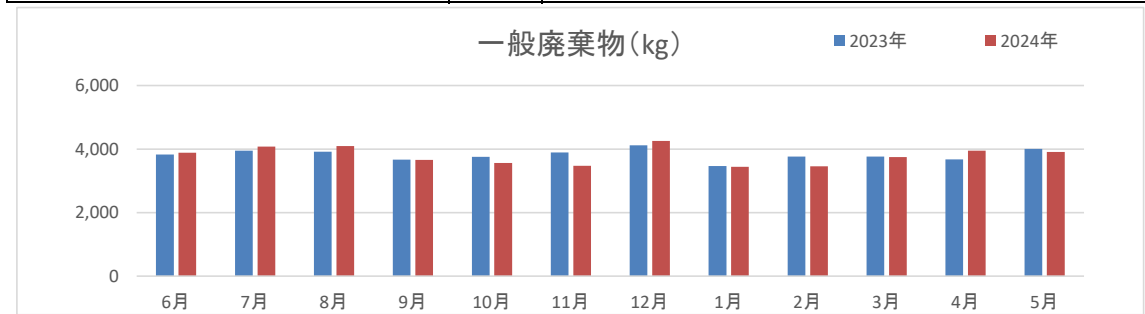


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	728	866	830	791	711	614	636	604	695	573	656	616
2024年	678	771	781	918	751	672	693	637	643	588	672	726



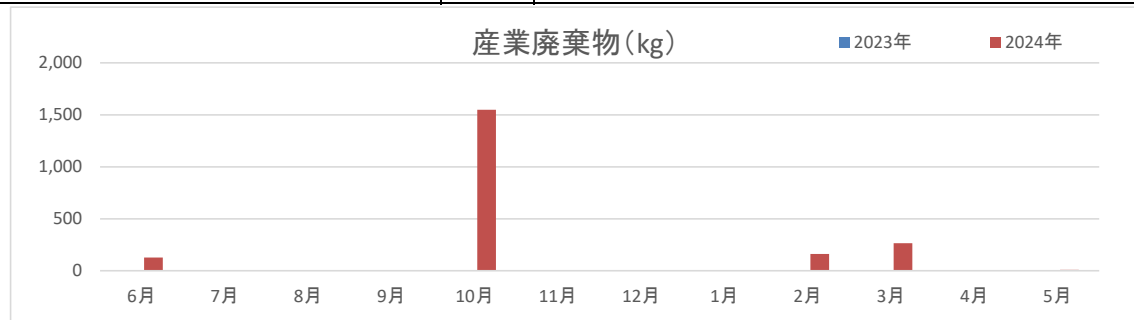
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	11,970	12,848	12,545	12,019	12,737	10,727	11,528	11,186	10,928	11,279	13,232	13,412
2024年	14,143	14,864	14,850	16,421	14,457	13,238	15,152	13,303	13,415	13,838	14,843	13,637

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	オフィス、住居部ともに、分別意識と行動を推進させていく。
・住居部入居者の分別の呼びかけ	△	
・オフィス部の紙類の再利用とリサイクル	○	
・ペットボトルは全て水平リサイクルへ	○	



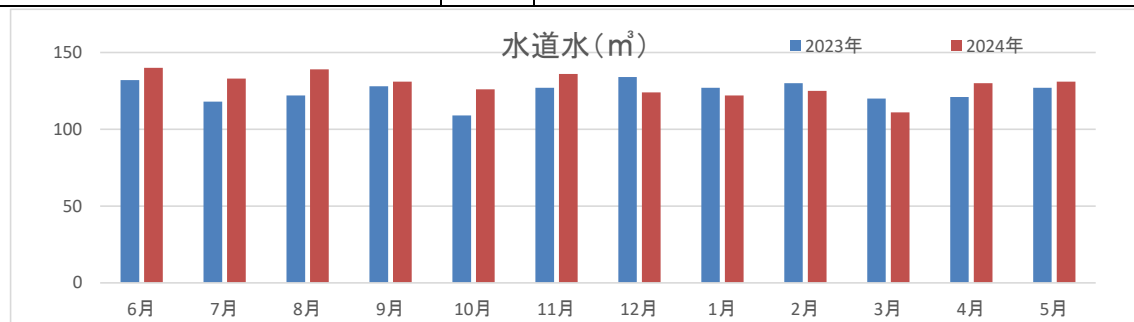
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	3,828	3,953	3,913	3,664	3,756	3,894	4,115	3,469	3,760	3,760	3,675	4,007
2024年	3,881	4,081	4,091	3,655	3,563	3,471	4,257	3,444	3,460	3,751	3,953	3,908

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	取引先の廃業による施設の明け渡し期限に間に合わせるため、自社の産業廃棄物として処理。 一方で、リサイクルベースからの排出は引き続きゼロを維持できている。
・キャップとラベルの処理ルートの開拓	○	
・オフィスから出るペットボトルは全て水平リサイクルへ	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024年	126	0	0	0	1,549	0	0	0	162	265	0	9

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	使用状況としては不適切なものではないので、必要量であると言えると思われる。
・洗車場に節水タイプのホースを導入	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	132	118	122	128	109	127	134	127	130	120	121	127
2024年	140	133	139	131	126	136	124	122	125	111	130	131

各事業所の紹介



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃掃法（収集運搬業）	一般廃棄物（紙、木くず、生ごみなど） 産業廃棄物（金属類、廃プラ類、ガラス屑、廃油、木屑）
廃掃法（自社排出分）	産業廃棄物（金属類、廃プラ類、ガラス屑、廃油、木屑）
フロン排出抑制法	業務用空調機
NOx・PM法	トラック・バン
自動車リサイクル法	使用済自動車
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機・乾燥機
資源有効利用促進法	パソコン

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

環境上の苦情・要請はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：巨大地震発生	
■実施日： 2024/5/27-30	■実施場所 自学習
■参加者： 全従業員	■実施内容 詳細資料の編纂と配布
■評価： 業務中の被災ケースを考察し得る限り詳細かつ現実的にシミュレートし、従業員に対して避難に関する予備知識を十分に与えることができた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子＝配布資料	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者の見直し実施日 ⇒ 2024年9月2日

産・官・民連携で実施しているペットボトルの水平リサイクル「みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト」に携わるようになって4年目になります。ペットボトルの取り扱い量は、増加率こそ穏やかになりましたが、計上される実数は前年を上回ることは間違いないと思われます。ただ、このプロジェクトを通して世の中が次第にエコになっていくのと反比例して、当社の圧縮梱包施設と収集車両の稼働率とランニングコストは上がっていき、一言で言えばエコでなくなっている状況であると言えます。そんな中でも、地道な節電による電力の諸費抑制、ルート効率化とエコドライブによる燃料使用量削減を常に従業員に意識させていく必要があります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

